

2024.02



ぎふの木ネット協議会

<改めて感じた災害への備え>

1月1日元旦の岐阜は雲1つない晴天、気温も高く今年はスタートからいいぞと思った矢先、能登半島でマグニチュード7.6の大地震が突然起こりました。さらに追い打ちをかけるように羽田空港で日航機の衝突事故も起こり、年始から波乱に満ちた幕開けとなってしまいました。



2024年が始まりました。今年辰年 干支は甲辰です。「成功という芽が成長していき形を整えていく」「こんな年らしく甲の意味もまっすぐ堂々とそそり立つ大木を表すこのこと、意義深い年となりそうです。」

特に今回の大地震については津波の被害より明らかに倒壊による被害が圧倒的であり、二次被害として大規模火災も発生しております。私が見るに、阪神淡路大震災のイメージと大変似かよっている気がします。また報道映像から判断するに耐震基準以前の屋根の重そうな和風住宅の倒壊が多いと感じました。

私たちはかつての災害から何を学んできたのだろうか？復興の過程で喉元過ぎれば熱さ忘れるような場当たり的な行動しかとれなかったのか？それともスピード感・実行力の欠如なのか？改めて災害に対する我々の持続的、かつ強力な使命感の必要性を自覚しました。

<今回の災害での気づき>

能登の震災での倒壊・災害についての気づきをいかにまとめてみました。

①	阪神淡路大震災や熊本大地震との類似性 ・屋根過重や耐震壁不足
②	高層ビル倒壊について ・地盤補強や基礎の強靭性等
③	倒壊を免れた住宅も…… ・おそらく構造躯体にゆるみが生じたり、重大な欠損が生じたりしている懸念がある。今後の地震に対する耐震性能が大幅に欠如している可能性も



ぎふの木ネット協議会



ぎふの木ネットの理念と方向性

<現在の理念と方向性>

現在の理念と方向性を表にしました。

基本理念	ぎふの木を利用し健康で快適な暮らし空間を創造する		
方向性	山を守る	人を守る	技術を守る
	地域経済の活性化		ITでイノベーションを

これまで基本理念の中で「健康で快適な暮らし空間」を目指しておりましたが、改めて「安全」という要素も必然であると感じました。安全とは「人を守る」ことであり、地震や火災水害等の災害も想定してランドデザインに組み込んで参りたいと存じます。

共通キーワード	方向性	内容
健康・快適	山を守る	SLSC (サステナブル・ローカル・サプライチェーン) →システム導入による見える化
	人を守る	・健康に関する(ストレス・睡眠・認知機能免疫機能等) 学術機関・共同研究 →エビデンスに基づいた商品開発 ・強靱で快適な住宅開発(耐震・省エネ・県産材住宅) ・災害対策(災害時の非常対応組織)
安全	技術を守る	・だいくエイド(AI利用職人プラットフォーム) ・工程物流合理化(工程管理等、見直しで生産性向上) ・職人の技術を活かす(新築・リノベ・家具等)
脱炭素化	地域経済の活性化	・異業種マッチング(ものづくり、新しいプラットフォーム) ・新分野挑戦(非住宅・オフィス木質化) ・空き家対策(グリーンリノベ・相談窓口) ・輸出(高付加価値商品)
	ITでイノベーション	●AI利用 ・MOKUTOWN ・ワンストップ・住まいづくり情報サイト ・資材パッケージ・住宅パッケージ ・共同仕入れ(大手に負けない仕入れシステム)

<専門部会>

グリーンリノベ部会 (リノベ・空き家対策)	非住宅部会	分譲部会	住宅開発部会	異業種マッチング プラザ
2月より	→→令和6年度→→			



ぎふの木ネット協議会



<中小企業が元気な地方に>

日本の労働生産性ランキング(時間当たり)はどんどん低下しています。円安の影響もあり、とうとうOECD内で28位くらいまで落ちてしまいました。新聞の記事などでは中小企業の生産性の低さ(大企業の半分程度)を理由に取り上げていますが、悔しくてなりません。

しかしこれも現実です。中小企業の生産性向上なくして地方創生が困難なことも確かです。

<アニマルスピリッツを取り戻そう>

かつて経済学者のケインズは、経済理論の中でアニマルスピリッツの重要性に言及しました。

最近では世界的な投資会社であるバークシャーハサウェイのCEO、ウォーレン・バフェットも日本の凋落について同じ様なことを言っています。アニマルスピリッツは野望とか野心などと訳されていますが、私の解釈では動物的な生存能力、エネルギーに満ちたイメージだと考えています。

本年度、私たちはアニマルスピリッツを意識してよりスピーディーに、より強力に行動したいと考えています。

ぜひ一緒に！！

(ぎふの木ネットメルマガ 第55号より)



医療系建設物受注に向けたセミナーを開催します

クリニック・調剤薬局への営業実践方法を伝授します。
受注で7,500万円、粗利30%も夢ではありません。

戸建て住宅新築着工数は減少の一途です。そこで受け皿となるのが非住宅です。

大型施設は工期と手間がかかりますが、戸建て感覚で建てられる小規模のクリニック・薬局を対象に受注を確保していく話となります。工務店次の一手はこれです。

<同時開催 DPSクリニック調剤の営業ノウハウVC募集説明会>

医療経験者が語るクリニック・薬局建設の現状
～医師との接点、どう知り合って受注につなげるのか～

あの山梨の高性能住宅フランチャイズ「デザインハウス」
深沢代表による医療系フランチャイズのご提案

日時:2024年3月6日(水) 14:00～ (受付13:30～)

会場:板蔵ファクトリー株式会社(〒501-0224 岐阜県瑞穂市稲里88-1)

※定員の関係で先着20社限定でのお申込みとなります

申込用紙を同封しましたので、ファックスまたはWEBよりお申し込みください

WEB申し込みはこちらからもできます→



グリーンリノベ分科会を開催しました

2月7日(水)に、OKBふれあい会館にて、第1回グリーンリノベ分科会を開催しました。お忙しい中お越しくくださった皆様、誠にありがとうございました。

第1部では、一般社団法人ハウスサポート代表理事の松塚様より、空き家問題や対策について法的な面やビジネスの視点などから多角的に解説をいただきました。

第2部では、YKKAP様より2024年度の住宅省エネキャンペーンの補助金についての解説をいただきました。

特に第1部の質疑応答では、参加者の方から多くの質問をいただき、大変活気がある会となりました。



今後5月・8月・10月にも分科会を開催する予定です。

令和6年 ぎふの木ネット協議会 イベント予定

ぎふの木ネット協議会の令和6年度行事予定についてお知らせいたします。

7月12日(金) 午後 ぎふの木ネット協議会イベント
11月29日(金) 午後 ぎふの木ネット協議会イベント

会場:いずれも岐阜グランドホテル



詳細につきましてはそれぞれ日付が近くなりましたらまたお伝えいたします。
ぜひとも予定を空けてくださいますようお願いいたします。

会員の方への情報を募集します

会員の皆様へのご報告として、ぎふの木ネット通信を発行し(年6回程度)、協議会の活動報告などをお伝えしていきます。

今後は会員の皆様同士の情報共有を図るために、皆様からの貴重な情報を頂き、その情報を会員の皆様へ周知したいと考えております。

展示会や近況など、お知らせしたい内容がありましたら、ぜひ事務局までご連絡ください。

(チラシなどの印刷物をご提供いただければ、ぎふの木ネット通信の中に同封して会員の皆様にお送りします。)

